

名称 CORINE (Co-ordinated Info. System on the State of the Environment and Nat'l Resources)

日本語名 環境情報調整機関

親機関 CEC

住所 DG XI Environment, Nuclear Safety and Civil Protection Agency
Task Force, Rue de la Loi 200, B-1049 Bruxelles

国名 BELGIUM

電話 — — —

ファックス — — —

1. タイプ：国際的データネットワーク

2. 地理的範囲：欧州共同体

3. 目的

CORINEは1985年6月に欧州共同体の閣僚会議によって設立された。現在CORINEはEEAの特別調査委員会の中核的要素となっており、EEAの前身機関である。当初4年計画だったが2年延長された。CORINEの目的は以下の3つである。

- (1) 環境状態に関する情報を参加国に優先的に提供する。
- (2) 参加国のイニシアチブを調整し、国際的に情報事情を改善する。
- (3) データを比較できるように学術用語、定義の一貫性を保証する。

特にビオトープの保護、局地・越境大気汚染を解決し、地中海地域の環境を保全することを優先的に解決すべき問題領域としている。

4. データ管理

CORINEの情報システムは3要素からなる。

- (1) プロジェクト情報（大気汚染、ビオトープ、海岸浸食、土地被覆、海洋環境、土壤浸食/土壤質、水資源）
- (2) 欧州共同体のもとで収集されたデータ
- (3) 研究成果の分析と表示に必要な基本的なデータ

以上のデータ・情報を提供することを目的として、関連データ・情報が2つの領域で体系化されている。

- (1) 環境データの蓄積と欧州の環境状態に関する地理情報システム（GIS）の開発
- (2) 環境データの一貫性、比較・利用可能性の改善（環境データの収集、加工、管理の標準的方法の開発）

データの統合化、すなわち種々のデータ源からの情報を相互に比較できるようにすることである。システムは共通して用いられる地理情報システム（ARC/INFO）を利用しているので、開発が終了するとUNEP/GRIDの扱う環境データと互換となる。また情報を作成するだけでなく、政策支援におけるデータ利用を促進することも進めている。

データの提供は、0次データ（原データ）と1、2次データ（加工データ）に分けて実施されている。0次

データは未加工のデータがデジタル形式により磁気テープで提供されるとともに、地図、リスト、テーブル、報告書からの抜粋の形で供給される。加工データについてはGISにより分析、加工されたデータが供給される。

5. 協力関係

CORINEは広範囲に他の機関やプログラムと協力関係を結んでいる。環境媒体ごとに協力関係をもつ機関は次のとおりである。

バイオーム	EC, IUCN 等
大気	OECD の大気インベントリー, EUROTRAC, IIASA 等
海洋	EUROMAR, OSPARCOM, ICES, MAP 等
気候	WMO

6. 参考文献

HEM, 1990: A Survey of Environmental Monitoring and Information Management Programmes of International Organization.

CORINE, 1991: Examples of the use of the results of the programme, 1985-1990, Commission of the European Communities, 57 p.

CEC, 1985: Communication from the Commission, 119 p.

7. その他

CORINEの予算は、10.5 百万 ECUで、年あたり 1.75 百万 ECUである。